

パブリック・コメント実施要領 （「共同認証評価基準」改定案）

○ 基準改定の趣旨・理由

- 共同認証の目的と実施体制

共同認証（International Joint Accreditation Standards: iJAS）は、大学の国際化促進および国際的質保証に資することを目的に、2018年に台湾評鑑協会（TWAEA）と大学基準協会（JUAA）が共同で開始した国際共同認証の枠組みです。現在は、タイの全国教育基準・質評価局（ONESQA）、モンゴル教育評価協議会（MNCEA）を加えた4機関によって共同運営しています。

- 改定の背景と目的

共同認証の開始から7年が経過し、テクノロジーの進展や教育機関の社会的役割への期待の高まりなど、高等教育を取り巻く環境の変化に加え、これまでの評価を通じて明らかになった課題を踏まえ、「共同認証評価基準」の改定を行います。本改定は、より国際的な質保証の動向に整合させるとともに、戦略的で将来志向の評価枠組みへ発展させることを目的としています。

- 改定の体制と手続

基準改定案は共同認証評価委員会において検討し決定します。その過程では、日本のみならず運営機関の所在国やその他の有識者から意見を聴取するとともに、関係者および一般からのご意見を広く募るパブリック・コメントを実施します。

○ 主な改定点

- 基準本文及び評価指標説明文の設定

基準の趣旨を明確化するとともに、理解を促進するため、大項目ごとに基準本文を設けるとともに、各評価指標（Indicator）に説明文（Description）を追加しました。

- 基準の戦略的統合

現行基準では個別に設定されていた「基準1 Mission, Goals & Strategy（使命・目的・戦略）」と「基準6 Governance（ガバナンス）」を、改定案では「基準1 Institutional Mission, Governance & Strategic Sustainability（使命、ガバナンス及び戦略的持続可能性）」として一体的に評価する形に統合しました。これにより、ガバナンスや方針の一貫性をより総合的に把握し、評価の重複を避けつつ、大学全体の取り組みの整合性や相互関係を踏まえて捉えることが可能となります。

- グローバル課題への対応

グローバル課題に対応するため、評価指標の内容について見直しを図りました。具体的には、国際的アジェンダや社会的ニーズに対応しつつ、戦略性と成果志向を重視した柔軟な評価枠組みに転換しました。また、ステークホルダーの参画と透明性を強化するとともに、AI（人工知能）やVR（仮想現実）、ラーニングアナリティクス

(2025.10.21)

(学習データ分析)などの新しい技術の影響をふまえ、教育課程、教育方法、ガバナンス、質保証システムの各面にデジタルイノベーションを積極的に取り入れた枠組みを導入しました。

- ルーブリックによる段階的評価の導入

大学が自身の現状や強み・課題を把握しやすくし、継続的な改善や自己評価の質の向上につなげることを目的として、各評価指標に「初期段階 (Initial)」から「卓越段階 (Exemplary)」までの5段階ルーブリックを設定し、段階的な評価を導入しました。

- **基準の適用**

- 2026年度の申請より適用予定

- **パブリック・コメントの対象**

- 「共同認証評価基準」改定案における「II. Standards, Indicators, and Description」及び「III. Corresponding Rubrics」

- **意見提出期限**

- 2025年11月17日(月)まで

- **意見提出方法**

- 以下の意見提出フォームから意見を提出してください。

<https://ws.formzu.net/dist/S313446438/>

パスワード：iJAS2025JUAA

- 意見の提出は原則として英語とします。

※日本語での提出も可能ですが、その場合、共同認証評価委員会提出時に事務局にて翻訳を行います。

- **意見の取扱い**

- 基準改定作業に反映し、必要に応じて修正を行います。

- **本件に関する問い合わせ**

公益財団法人 大学基準協会

評価研究部・国際企画室 (担当：森、伴野)

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-13

TEL：03-6228-1315

FAX：03-5228-2323

E-mail：intl@juaa.or.jp